

あなたのごみの出し方、正しいですか？

ごみの分別にご協力ください

環境対策課環境対策係 ☎028(677)6041

ごみは生活していく中で不必要になった物ですが、実は「資源として再利用できる物」がたくさんあります。環境対策課で配布しているごみの分別事典をご覧ください、正しい分別にご協力をお願いします。



▲ごみカレンダー



▲ごみの分別事典

ルール厳守！ごみの出し方

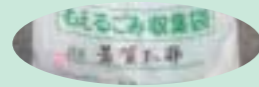
時間厳守

当日の8:30までに
ごみ収集ステーションに
出してください。



後出しが増えています。ごみは指定の時間までにごみ収集ステーションに出しましょう。

指定袋はルールを守って使いましょう



氏名を記載して必ず氏名を記載し、出したごみには責任を持ちましょう。
氏名を記載して必ず氏名を記載し、出したごみには責任を持ちましょう。

しっかり口を縛ってください。かさ上げは禁止です。袋に入れてください。



縛っていないと収集時にごみが散乱してしまいます。



袋からあふれてしまう場合は、別の袋に入れます。



木の枝等に指定袋を巻き付けた物などは回収できません。

ごみが収集されるまでは、出した本人の責任です。収集所は「ごみ捨て場」でなく、「ごみ置き場」としてルールとマナーを守ってごみの分別を行い、地球に優しい循環型社会を目指しましょう。



取り組みましょう！3Rプラス3R

Reduce (リデュース)

発生抑制

ごみの量をできるだけ少なくする。

Reuse (リユース)

再使用

一度使った物をごみにしないで何度も使う。

Recycle (リサイクル)

再資源化

使い終わった物をもう一度資源に戻して製品を作る。

Rethink (リシンク)

考える

本当に必要な物かどうかよく考える。

Refuse (リフューズ)

判断する

不必要な物はきちんと断る。いらぬ物は増やさない。

Refine (リファイン)

分別する

捨てる時には分別する。リサイクルのことを考えて手間をかける。

カン類

町指定の黒のコンテナに入れて収集日に出しましょう。



ペットボトル

町指定の青のコンテナに入れて収集日に出しましょう。



カン・ペットボトル・びんを出す際の注意点

- ※中身を洗ってください。
- ※カン類とペットボトルは、容器をつぶさないで出してください。
- ※コンテナは燃えるごみと区分できるように、燃えるごみ用のボックスやステーションと離して置きましょう。

燃えないごみ

町指定の青のコンテナに入れて収集日に出しましょう。指定のコンテナからはみ出さないように入れてください。はみ出す大きさの物は「粗大ごみ」で出してください。



電池や使い捨てライター

注意! コンテナの上に乗せてください。モバイルバッテリーは収集しません。処分する際は環境対策課の窓口に持ち込みください。



電池

両側にビニールテープ等を貼り付け、絶縁する。



ライター

ガスレバーを押し下げて完全にガスを出し切り、テープで固定する。

プラスチック

「容器包装リサイクル法」に基づくプラスチック類を収集しています。きれいに洗い、透明または半透明の袋に入れ氏名を書いてエコステーションへ出してください。

- 回収できる物 食品トレー、食品容器、洗剤等の容器など
 - × 回収していない物 (例) 子どものおもちゃ、プラ製スプーン、バケツ、歯ブラシ、クリアファイル、CDケース、ジップロック
- 各家庭に配布したチラシ「プラスチックごみの出し方」を参考に分別してください。

びん類

共用コンテナ(青と黄色)に色別に入れましょう。



コンテナの数が足りない場合は、個人のコンテナに入れるか、共用コンテナの前に並べておいても収集されます。

共用コンテナに横に倒し入れましょう。



立ったままだとコンテナを重ねられず、また雨水がたまってしまいます。

農薬や殺虫剤のびん類は収集しません。



農薬や殺虫剤が入ったびん類は回収できません。処分する際は購入店等にお問い合わせください。

紙類

新聞、雑誌、段ボール、その他の紙類に分別し、十文字縛り出してください。雨天時にも出すことができます。



- × ビニール袋や新聞店の紙袋を使用して出す
- × 紙袋の中に燃えるごみを挟んだ状態で出す

衣類・布類



燃えるごみと区別し、雨天の場合はできるだけ次回に出してください。

※雨天時の収集はリサイクルされず、すべて焼却処分となってしまいます。